

第 1 回 地球温暖化対策特別委員会 議事概要

① 会議概要

- 1 会議名 : 第 1 回 地球温暖化対策特別委員会
- 2 日時 : 令和 5 年 10 月 11 日 (火) 13:55~16:15
- 3 場所 : 飯綱町役場 2 階 第 1 会議室
- 4 出席者 : 委員 : 松岡委員、穴山委員、外山委員、中山委員、宮入委員、金澤委員、
廣田委員、青山委員

事務局 : 飯綱町役場住民環境課、同企画課

業務受託者 : 株式会社 K R C

- 5 次第 : 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 特別委員会等について
- 5 委員長選出及び職務代理者の氏名
- 6 議事

飯綱町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

- (1) 地球温暖化対策実行計画の概要
- (2) 計画策定の背景と目的
- (3) 現況の整理、町民・事業者アンケート結果
- (4) 温室効果ガス排出量の現況と現状趨勢
- (5) 再エネ導入ポテンシャル
- 7 その他

次回委員会開催日程

- 8 閉会

6 提示資料 : ・ 次第

- ・ 飯綱町環境審議会 第 1 回地球温暖化対策特別委員会 出席者名簿
- ・ 飯綱町環境審議会 地球温暖化対策特別委員会の概要について
- ・ 口座振替申出書
- ・ 資料 1 飯綱町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の概要
- ・ 資料 2 計画策定の目的等
- ・ 資料 3 飯綱町の現況住宅系用途の区域別・手続き別の開発動向
- ・ 資料 3-参考 アンケート結果の集計・分析前回制度改定時のアンケート調査票
- ・ 資料 4 温室効果ガス排出量の現況と現状趨勢
- ・ 資料 5 再エネ導入ポテンシャル
- ・ 用語集

② 議事概要

○：委員意見
→：事務局対応

(1) 地球温暖化対策実行計画の概要

資料説明（事務局）

資料1（地球温暖化対策実行計画の概要）

- この計画の町民に対する公表方法は考えているか。
- 住民への周知方法について、ネット難民の方もいるため、ホームページ以外での方法も考えていただきたい。
- 冊子を作って配布するということは考えていない。ホームページ等で一般に広く公表することを検討している。役場の窓口には冊子を用意し、広報等で周知する。

- 次回（第2回特別委員会）以降の議論の進め方について、事前の資料送付などはあるか。
- 事前に資料を送付し、見ていただいた前提で、当日審議を進めていただく。

- 飯綱町の特色がある計画にするのであれば、計画の目玉となるものを決め、飯綱町はこんなことをやろうとしているということをアピールしていくべきである。
- 飯綱町ならではのシンボリックな再生エネルギーの活用等を盛り込んでいきたいと考えている。

- 次回会議において、現在町で取り組まれている事例等をぜひ紹介いただきたい。
- 町で取り組んでいる施策等を整理して紹介する。

(2) 計画策定の背景と目的

資料説明（事務局）

資料2（計画策定の背景と目的）

- 他の計画と合わせた実行計画となるのか。
- 現在作成中の区域施策編は、新エネルギービジョン（計画期間：H26～R05）の内容を含めた計画とする。新エネルギービジョンの成果・実績は次回の委員会で説明する。また、区域施策編には事務事業編の内容も反映させる。

- 現状の数値の把握は重要である。県の計画では高い目標を掲げているが、この町での実現性を確認し、シナリオや施策を考えるべきである。

(3) 現況の整理、町民・事業者アンケート結果

資料説明（事務局）

資料3（現況の整理、町民・事業者アンケート結果）

資料3-参考（アンケート結果の集計・分析）

（意見無し）

(4) 温室効果ガス排出量の現況と現状趨勢

資料説明（事務局）

資料4（温室効果ガス排出量の現況と現状趨勢）

- CO₂ 排出量の値は電気の排出係数に影響される。排出係数は年度により数値が変動するため、CO₂ 削減量を考える際には、活動量も分析すべきである。
- 排出係数の設定について、計画の基準年の排出係数を基準とする方法や、年度ごとの排出係数を使用する方法などについて検討する。

- 町内の太陽光発電の導入量について、設備容量が10kw以上の施設の導入が増加しているのは、町内の公共施設に大規模な太陽光発電設備が搭載された結果か。
- 建物系（屋根設置型）か、土地系（野立て型）のものは判別できないが、公共施設の屋

根等にはそれほど多く設置しておらず、民間でも大規模な建物系の設置はあまり見られないため、増加分は民間による土地系（野立て型）の設備だと考えられる。

（５）再エネ導入ポテンシャル

資料説明（事務局）

資料5（再エネ導入ポテンシャル）

- 長野県が公表している「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」は建物の屋根面積からポテンシャルが算定されているのか。
→マップは、航空測量データや太陽の軌道、日照率、周辺地形及び建物の屋根の形状、建物の様々なデータをもとに、建物ごとに設備容量や発電量等を算定している。
- 太陽光パネルの設置について、長野県の補助金では、県が認定した事業者でないと補助金が出ない。
→飯綱町の補助金ではそのような制約はない。
- 芋川用水等の人工河川の小水力発電や、雪を利用した雪むろ等、町独自のポテンシャルを大事にしてCO2削減に取り組んでいただきたい。雪むろは2月に雪を詰め、7月まで冷蔵庫として利用でき、「雪ねむり」というブランドで蕎麦やリンゴを販売している。また、化学肥料から有機肥料への転換では、CO2削減だけでなく農業振興、安心安全な農作物の生産等一石三鳥となると考える。
→飯綱町ならではの施策を考えていく。
- 風力や太陽光のエネルギーは無料で手に入るが、木質バイオマスは入手に労力がかかるため、コストがかかることも考慮していただきたい。

（６）その他

- ・次回日程について
→11月27日14時より開催。場所は後日通知する。